

更新

事業者名	株式会社カープラザ熊本
------	-------------

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

これまで10年以上取り組んできた当社の環境エネルギー部門を母体とした株式会社シャペロンや共同研究を進めてきた熊本県立大学と共同で、熊本県内を中心とした焼酎メーカーから排出される焼酎粕を処理してアミノ酸を抽出し、さらにバイオガス発電を行う事業の構築を目指します。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	社員の意思を尊重し、定年後も再雇用する制度を設ける。採用するにあたり、年齢や障害の有無を問わず、一人一人にあった働き方を与える。社員満足度をあげて、お客様へのサービスにつながるよう、職場環境を向上させる。	●有給休暇取得率 2026年度まで100%を継続 ●残業時間 2026年度までゼロを継続 ●離職率 2026年度までゼロを継続
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	これまで10年以上取り組んできた当社の環境エネルギー部門を母体とした株式会社シャペロンや共同研究を進めてきた熊本県立大学と共同で、熊本県内を中心とした焼酎メーカーから排出される焼酎粕を処理してアミノ酸を抽出し、さらにバイオガス発電を行う事業を開始する。再生可能エネルギーの制作および販売、研究開発に取り組む。	●1日目標処理量 2023年度未実施 →2026年度 100トン
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	どんな下取車も整備や外装を仕上げで再販売につなげる。廃車になる車でもリユースできる部品等は活用させる。焼酎粕の処理技術により、アミノ酸抽出及びバイオガス発電により、社会全体の経済効率を高める。	●年間発電量 2023年度 未実施 →2026年度 約16,000mwh ●下取り車再生率 2023年度 事業未実施 →2026年度 80%

<パートナーシップ>

当社が取り組む環境エネルギー事業について、パートナーシップをもつ事業体としては、以下の主なパートナーと共同で事業を推進します。

- ①技術を保有している株式会社シャペロン
- ②共同研究者である熊本県立大学の石橋教授
- ③焼酎メーカー、食品メーカーなどの食物残渣を排出する事業者

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。  
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。  
 ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	これまで10年以上取り組んできた当社の環境エネルギー部門を母体とした株式会社シャペロンや共同研究を進めてきた熊本県立大学と共同で、熊本県内を中心とした焼酎メーカーから排出される焼酎粕を処理してアミノ酸を抽出し、さらにバイオガス発電を行う事業の構築を目指します。	1日の処理量100トン	事業開始が遅れており、現在、事業開始に向けた各種申請手続きが終了した段階です。2024年9月に工事が開始され、2026年3月から処理施設を稼働します。 ※プロジェクト工程表参照
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	県警や暴力追放センターと協力しての防犯意識の啓発や職場の働き方改革を推進します。	有給休暇取得率100%及び残業ゼロを目指します。	全社員が有給休暇を100%取得しました。
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	焼酎粕の処理技術により、アミノ酸抽出及びバイオガス発電により、社会全体の経済効率を高めます。	年間発電量:約16,000mwh	事業開始が遅れており、現在、事業開始に向けた各種申請手続きが終了した段階です。2024年9月に工事が開始され、2026年3月から発電施設を稼働します。

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。